

主流メディアは死んだ：そしてこの“獣”を殺したのは 代替メディアだ

【訳者注】これはアメリカについて述べたものだが、わが国でも事情は同じで、“ビッグ・ブラザー”つまり CIA は共通のはずである。今年中に主流メディアは終わる、というのは信じがたい気もするが、大きなものが倒れるときには、おそらく一気に倒れるであろう。もし主流メディアが、完全に拘束を破って自由に書き、話すならば、今ほど面白いタネ——人類をあっと言わせて教育するタネ——が書き切れないほど存在する時代はないであろう。人々は行列を作って新聞を買い求め、また翌日もそうするだろう。そうすれば購読者離れなど吹っ飛ぶのに、自ら好んでそれを拒否するのだから、同情などすることはない。彼らはここに書かれているように、国民を騙して戦争へ導く犯罪者、“人類の敵”の道を選ぶことによって、ジャーナリストという誇るべき仕事を、地に墮としてしまった。その事情のある程度わかっている誰が、こんな仕事を選ぶだろうか！ これは悪罵ではない、人類の敵から救世主に寝返ってもらうための「喝！」である。

State of the Nation

June 30, 2017



主流メディア墓碑銘

2017 年は、主流メディアが死んだ年として歴史に残るだろう。この第 3 千年期に、死んで

機能しなくなった企業メディアより大きな出来事は起こっていない。ロシアでなく、この出来事こそ、今日の世界で最大のニュース・ストーリーである。

主流メディアは何とか最後の息はしているが、この“獣”がまだ生きてピンピンしているのは、深層国家の億万長者からの膨大な現金の流入があるからである。今、危機的な膨大な数のアメリカ人が、主流メディアこそ真に**人民の敵**であると理解するようになっている。

「主流メディア：真の人民の敵」 <http://stateofthenation2012.com/?p=50948>

企業メディアは、何十年もの間、アングロ・アメリカン社会を、際限もなくコントロールするのに利用されてきただけではない。それは密かに組織されて、西洋文明のコースを何世紀にもわたって支配してきたのである。主流メディアの、人類に与えた極端にネガティブな影響力は、推定することさえできない。そうやっていいほど深遠な浸透するダメージを、それはこの地球全体に与えてきた。

キーポイント：忘れてならない重要なことは、大小あらゆる国家に与えたその破壊の多くは、無力な第三世界の国々や社会に対して与えられたものだということだ。ペンは剣よりもはるかに強いという真理が、ここでは完全に働いている。新聞は最初に、狙った政府を、ジェノサイドのような、人類に対する犯罪の犯人に仕立てるのに利用され、次に、その偽りの非難が、これら無力な国家に対する侵略戦争を正当化するために、利用される。

主流メディアは、トランプ時代に衝突し炎上する

ホワイトハウス記者団の完全な混乱状態は、トランプ大統領がたった 2 年間に受けた影響の大きさを反映している。現代史の他の誰もトランプほどに、ジャーナリズム産業全体を、下降スパイラルへと落とした者はいない。

ほとんどの人々は知らないが、過去数年は、生存のためのギリギリの支援が主流メディアを支えている。彼らは決して自分の死亡通知を書かないだろうが、新聞産業はほとんど崩壊している。同様に、そのネットワークは、組織的にデジタル化した広告主から、静かにその大きな打撃を受けている。もし 2016 年選挙サイクル年のナマの興奮がなかったとしたら、大手のネットワークは、今ごろは、すでに死んで埋葬されていることだろう。ここに両刃の剣の最たるものがある——ドナルド・トランプは、彼らメディアにとって最大の物語を提供したが、彼は同時に、究極の引導を彼らに渡す者となるだろう。「CIA の（所有する）主流メディアの不可避の終焉」 <http://stateofthenation2012.com/?p=4955>

もしトランプが、彼の2期の大統領職の間に、主流メディアの完全廃止以外に、何も成し遂げなかったとしても、彼は、44名の先輩米大統領の誰よりも、大きな業績を残したことになるだろう。これは主流メディアが、アメリカ共和国の存在そのものにとって、いかに危険なものになったか、ということである。すべての大手企業メディアのニュース発信の場が、有害なプロパガンダの常設機関になってしまっただけでなく、それらは日常的に大逆罪を犯している。「企業メディアは今、アメリカ共和国に対し生命の脅威となっている」

<http://stateofthenation2012.com/?p=63285>

ならず者ジャーナリズムだけが、虚偽のロシア陰謀についてのフェイク・ニュースを、絶えず流し続けている——その狙いが、アメリカ人を企まれた戦争へと、一斉に追い込むことであるにもかかわらず。主流メディアは、トランプが、クリントン候補を負かすためにプーチン大統領と結託したというウソを繰り返すことによって、本物の熱い第3次世界大戦の引き金を引くための、詐欺的主張を作り出したのである。それが今のところ回避されているのは、このCIAの指令する計略を暴いてきた、トランプのツイッターのおかげである。

「ロシアに関する止めどもないフェイク・ニュースの背後の、語られざる裏話」

<http://stateofthenation2012.com/?p=58492>

もう一つの核大国との完全な外交の決裂が、主流メディアによって故意に計画されたということは、彼らの決して終わることのない背信と扇動の一例である。そして、彼らが謀反のアジェンダを実行すればするほど、トランプは、彼ら実は何であったのか——共和国に対する国家反逆者であったこと——をますます明らかにしている。

自分のウソについてさえウソをつく嘘つき

主流メディアは、現在、すべての主要なニュース発信の場を仕切っており、そこから、存在する限りの、故意の虚報、誤導情報、偽りのニュースが、四六時中、世界中に拡散されている。同じくらい許しがたいのは、彼らが日常的に真実を歪曲すること、また故意の省略によって、重要なニュースを報道しないことである。そのため世界の国家共同体は、フェイク・ニュースや黙殺の日常的一斉射撃や、そのしばしば恐ろしい反響に、さらされるのを避けることができない。

このような発火しやすい韜晦や曖昧さ、歪曲や誇張から生ずる、計算されたテンションの戦略は、何世紀も昔から、紛争を起こし、戦争を始めるための手段ではあった。しかし、主流メディアの行う、ほとんど時間ごとの虚報道や欺瞞が、最近のロシアに関する報道のように、極端になるならば、それは自分の運命の穴を掘るしかない。世界全体が今、人類に対する彼らの犯罪を目撃しつつあり、プライムタイムでも同じことが起こっている。

傍観者的な検事によって書かれた（もしくはこのように話された）市民の告発については、次のような短い言葉が、ポイントをついている。次のビデオは、主流メディアの人類に対する悪辣な犯罪を例証する多くの証言の一つにすぎない。それはまた、急速に死につつある“獣”の経験しつつある、現在の断末魔を反映するものでもある。

「ビデオ：主流メディアはゆっくりと死につつある」

<http://themillenniumreport.com/2017/06/the-mainstream-media-is-dying-a-slow-death/>

“ビッグ・マザー” がビッグ・ブラザーを監視している

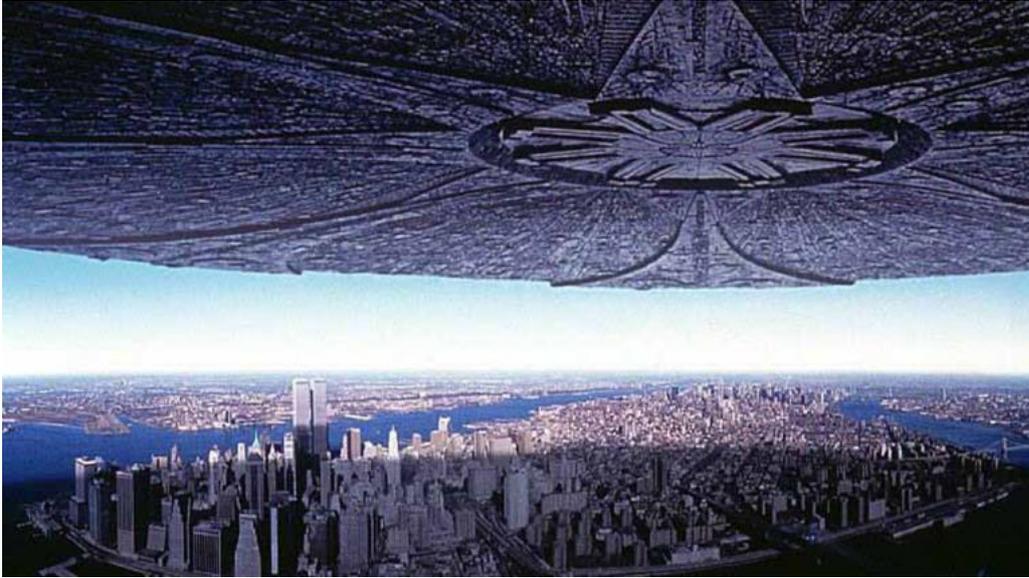
その一方で、指摘すべき非常に重要なことがある——“ビッグ・マザー” がビッグ・ブラザーをしっかりと監視してきたということだ。彼女は、新聞の書く虚偽の一つひとつ、とネットワークの発する嘘の一つひとつを、モニターきた。

インターネットの提供する証拠には、永遠のデジタル・レコードがあるために、主流メディアは、自分に対する不利な証拠を完全に密封してきた。そうすることによって、それは自分自身の没落を確かなものにしていく！ その葬式はおそらく 2017 年に行われるだろう。

ビッグ・ブラザーは、あらゆるフェイク・ニュースや物語、また戦争プロパガンダが、非常に膨大な、世界史上の市民の告発に寄与していることに、ほとんど気づいていなかった。

最も有力な主流メディア・ニュース媒体が、9・11 の真実をほんのわずかでも、調査したり公表さえすることを拒否しているのに対し、市民ジャーナリストや素人調査研究者は、膨大な量の、犯罪を立証する情報/データを公表している。主流メディアが問題の深刻な一部になったとき、それが“第4権力”の終わりの始まりだった。

これがまた“第5権力”（インターネット世界）の誕生ともなり、それが現在、メディアの上空を、無視されることもあり得る巨大な母船のように、漂っている。現実には、第5権力は無視されるどころか、いま権力エリートと西側体制によって、大いに恐れられている——剃刀の刃よりも深く速やかに切り込まれる真実として。「第5権力は、巨大な母船のようにその影を落とす」 <http://cosmicconvergence.org/?p=16644>



主流メディアはやがて死ぬ

主流メディアは 2017 年の終わりまでに死ぬだけでなく、その崩壊の結果として、いくつかの他の注目すべき展開があるだろう——

New World Order もまた死ぬ。

主流メディアがすべての命令を実行しなくなれば、**世界の影の政府**も無力となる。

グローバル・コントロール・マトリックスは麻痺する。

イルミナティは声をもたなくなる。

秘密結社は無力となる。

米情報局共同体は、黒い作戦や心理作戦を実行できなくなる。イギリスの **GCHQ**、**MI6**、**MI5** も同じ。イスラエルの **MOSSAD** も“騙しの手口”による戦争ができなくなる。

New World Order アジェンダは、急ブレーキをかけて止まるから、**One World Government** を作ろうとする隠れた計画は、終わりとなる。

この急速に出現しつつある現実には、新しい秩序のグローバルなパラダイムへと、やがて変化

していこう。Ordo ab Chao (Order out of Chaos、混乱からの秩序) は逆に、それがその運命であったように、歴史の中に後退していこう。

キーポイント：イルミナティ共同体のすべての柱が、この地上から消え始めると（例、デイヴィッド・ロックフェラー、ズビグネフ・ブレジンスキー）、彼らの暗黒で濃密なエネルギーを引き継ぐだけの、匹敵する代替者はいなくなる。エリザベス女王やフィリップ・エディンバラ公、ジョージ・ソロスやヘンリー・キッシンジャー、ジョージ・H・W・ブッシュや Warren Buffet、その他の多くの NWO の大立者も、いま残りわずかの時間を生きている。

この地球の文明が、20 世紀のネガティブなエネルギーから遠く離れるほど、以前の、古臭いパラダイムのすべては、ますます急速に消えていこう。フリー・エネルギーが究極的には、化石や炭化水素燃料、原子力エネルギーや水力発電に、取って代わるであろう。かつて万能だったドルが崩壊した後は、現在の地球的な経済・金融システムが、最終的に、新しい世界準備通貨に変わっていこう。

主流メディアと永遠の戦争経済

主流メディアが自由落地的に崩壊していくにつれて、永遠の戦争経済もまた尻すぼみ状態になるだろう。彼らは尻がくっついた者同士だから、主流メディアと深層国家は、互いにその急速な落下放物線を強め合うだろう。

世界全体が、生き生きしたカラー画像で、テレビ史上最大の“ショックと威嚇”場面を見るようになるのは、本当に時間の問題である。何と皮肉なことは、彼らの戦争計画に穴をあけるのは、でっち上げのロシア・ハック物語についての、主流メディアの“フェイク・ニュース”であるだけではない。この前例のない大ウソはまた、主流メディア全体を永遠に滅ぼすことになるであろう。

インターネットが可能にしたのは、致命的な真実を瞬時に拡散させることで、多くのニセ旗陰謀や、戦争を起こさせるための他の邪悪な計画が、これによって暴き出されてきた。第3次大戦の脅威はいまだに空中に漂ってはいるが、それを論ずる、強力な、グローバルなサイバー討論が、現実には戦争を起こそうと企まれた、多くのひそかな計略を挫折させるのに役立っている。

主流メディアが日ごとに信用を失っていくにつれて、さまざまのニセ旗攻撃やテロ作戦もまた、世界の国家共同体を戦争に押しやる効力を、ますます失っている。というのは、諸国

を不法な戦争に押し進めたのは、常に、多くの主流メディアのプロパガンダ機関によって念入りに考えられた、戦争商売だったからである。歴史を通じて、すべての世界戦争や地域戦争は、深層国家の指令による主流メディアによって、念入りに仕組まれたものであった。



2つの塔：主流メディアと深層国家（別名ツインタワー）

全世界はやがて、主流メディアが、リアルタイムで瓦解していくのを見て、ホッと安堵のため息をつくであろう。彼らの果てしない詐術と、深い深い裏切り行為の、汚らしい歴史に照らして見るならば、主流メディアはこれ以上、どれだけ長く、真実を隠しておけるだろうか？ おそらくこの地上に、メディアから悪意を向けられたり、間違って解釈されたり、誹謗中傷されたことが、一度もないという人はいないだろう。そのためにジャーナリズム産業は、長年の間に多くの敵を作り、その多くはきわめて苛烈で根深いものになっている。

同じように、深層国家の自由落下的崩壊は、それ自身の対処しようのない腐敗と、終わりのない悪だくみの重みによって、加速度を増すであろう。全世界の共同体が深層国家の存在そ

のものを認めているということ自体が、その急速な崩壊にかなり大きく寄与している。その中心的な組織化の原理を人が知っているだけで、それは深層国家の要員にとって防ぎようのない、強力な武器になっている。よく言われるように、ビンの小鬼がいったん飛び出すと、それを元へ戻すことはできない。

深層国家が世界を支配することができたのは、主流メディアによる何十年にも及ぶ、フェイク・ニュースの生産によるものだが、それはまた命取りともなる。この最終的に行きつく結論には、数学的な確実性があり、真実を求めるすべての人々に、それは大きな安らぎをもたらすはずである。反論できないポイントは、深層国家は、主流メディアのウソのダム湖の水門が開かれるのを、防ぐことができないことである。非常に多くの事実検証をする市民ジャーナリストがネット上におり、深刻な真実が流星の速さで暴かれつつある。これら直観の鋭い代替メディアのスーパー探偵たちは、深く掘り下げて調査するジャーナリストなので、ニセ旗などは、CIA や FBI がそれを実行する前に、予言することができる。

何であっても、あらゆることが、どこで起こっても、常に直ちにニュースになるこの時代にあっては、多くの不都合な真実が、明るみに飛び出すのを止めることはできない。それが起こるときには、この主流メディアと深層国家のツインタワーは、自分自身の足元へまっすぐに落ちるのが見られるだろう。この2つの逆賊的存在が、9・11のWTCビルの解体と、それに続く隠蔽の、直接の犯行者であったとは、何と詩的な正義であることか。ただ今回は、解体を行った者たち、すなわち代替メディアによる、どんな隠ぺいもないだろう。

メディアを支配する者が世界を支配する

深層国家の内部で起こり、そして主流メディアによってばら撒かれることの多くは、リーダーよりはるかに深い所で起こっている。すべての世間一般の情報は、CIA、NSA、DIA、FBI、それに DHS がその起源と考えられるから、これらや他の秘密部局は、何十年も前に、アメリカ中のニュース報道に入り込んでいた。ごくわずかのインサイダーだけが、この高度に悪用され誤用された取り決めを知っていた。

これらの隠された制度的な取り決めから考えるなら、時の権力が常に、メディアこそ、彼らのグローバル・コントロール・マトリックスの真のカギだということを、よく理解していたのは明らかである。したがって絶対的に確実に言えることは、誰でもメディアを支配する者が、真に世界を支配することである。そして彼らはそのように、かつてやっていた。

この強力な支配機構の古い歴史は、主流メディアが——分ごとに——創り出す無数の幻影という観点から見ると、非常に面白いものである。次のリンクは、なぜこれほど多くの人々

が、あらゆる所にあるテレビによって虜の状態になるのかについて、歴史的な文脈と、いくつかの興味ある洞察を与えてくれる。「誰でもメディアを支配する者が世界を支配する」

<http://cosmicconvergence.org/?p=2231>

結論

主流メディアはこれで終わったと言える。間違いなく「**主流メディアの終焉が、数十年間フエイク・ニュースを売りつけた後で、確実にになった**」

<http://stateofthenation2012.com/?p=59866>

同様に、深層国家も、それ自身のやり方による解体を経験するだろう——このように：「**CIAと深層国家の陰謀がついに暴露される**」 <http://stateofthenation2012.com/?p=64199>

大昔から言われていることだが、太陽が最上の消毒剤である。この場合には、真実の光が、主流メディア内部の最も枢要な地位を占めている、多くのならず者 CIA 局員（プロデューサー、編集者、ネットワーク・アンカー、それに出演させられるライター）を追い払うであろう。深層国家の陰で活動してきた、身分証明書をもつあらゆるメディア活動家は、究極的に光の下に追い出され、十分な法的処分を受けるであろう。我々は、印刷物、オーディオ、あるいはインターネット上のビデオ・フォーマットとして、彼らの言動のすべてをもっている。この（有罪とすべき）証拠が本当の話を語るだろう。

以上は非常に真剣な宣告である（予言ではない）。なぜそう言うかということ、常に人を騙す 主流メディアを黙らせようとする運動が動き出しているからである。ここから先は法執行の問題である。コンピューターやスマートフォンで武装している、何千という市民ジャーナリストを止めることはできない——どのようにしても、どんな手を使っても。

<http://stateofthenation2012.com/?p=76569>

著者付記：

ある鋭い観察者が、主流メディアは 2016 年に、現実に自殺をしたのだと指摘した。その健全な判断は、SOTN の上述の物語に矛盾するかのように見える。しかし我々は、主流メディアは代替メディアによって、特にツイッター代表者であるドナルド・トランプによって、自殺に追い込まれたのだと主張したい。

そこで裏の話はこうなる——主流メディアは本当は、2016 年の選挙キャンペーン・シーズン中に何度か自殺未遂をした。そこで“ピザゲイト”が 11 月に爆発し、彼らは、この高い

放射能をもつ物語を殺すために“フェイク・ニュース”ミームをでっち上げざるを得なかった。代替メディアのすべてを引きずり下ろそうとして、“フェイク・ニュース”ミームは、ブーメランのように、彼らの上にまとも返ってきた。現在、我々は、彼らの生活の糧が奪われていく間、実は、その制度的自殺の「忌中」の張り紙が、そこに張り付いていることを確かめつつある。<http://stateofthenation2012.com/?p=74842>

——以上